

エ 自己評価、相互評価、教師からの評価の関連

自己評価は、自分自身の取り組みを振り返りながら、自分を高めていこうとするものである。その手だてとして「ふりかえりカード」を活用し、児童の自己理解を深めさせた。

また、相互評価により自己評価を確認することができ、お互いの「よさ」を見つけることができた。そして、その「よさ」を伝え合ったのが「贈る言葉」である。

更に、教師は観察や発言・作品分析や「ふりかえりカード」など、様々なものから総合的に一人一人の「よさ」を把握し、その「よさ」を「メッセージカード」で伝えることができた。

このように、自己評価を中心にし、自己評価を確認する相互評価、自己評価を援助する教師の評価が互いに関連し合いながら、児童の自己理解を深め、やがては自己実現を可能にするものと考えるのである。

この関連を図に示すと次のようになる。

